

ベルトコンベヤ 探傷検査システム (ベルコンスキャナ)

判定基準

検出された傷の判定は下記フローにてサイズ分類し、サイズと深さに応じた総合ランクに分類されます。

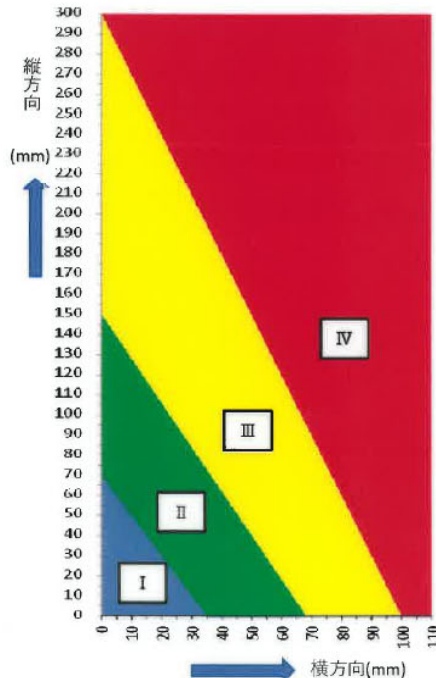


① サイズ分類

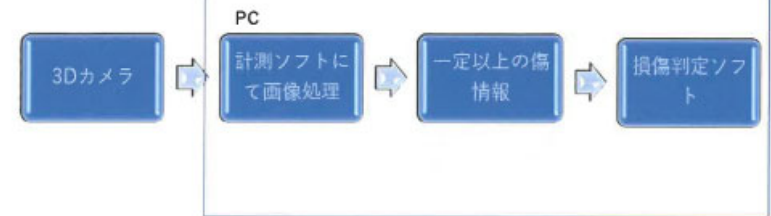
検出された傷を縦方向と横方向のサイズで左のグラフに従いI~IV段階に分類します。

例1)
傷サイズ : 横 20mm
 : 縦 80mm
↓
傷ランク : II

例2)
傷サイズ : 横 80mm
 : 縦 10mm
↓
傷ランク : III



データフロー



② 深さ分類

検出された傷の深さで下表に従いI~III段階に分類します。

	I	II	III
深さ	～5mm以下	5mm～10mm以下	10mm以上

③ 総合ランク

分類されたサイズランク及び深さランクで下表に従いA~Dに分類します。

		サイズランク			
		I	II	III	IV
深さ ランク	I	A	A	B	C
	II	A	B	C	C
	III	A	B	C	D

■ 処置

出力された判定ランクは粉塵や天候など周囲の環境により誤差が生じます。
また、突発的な振動や光などで誤検知の可能性もあります。
従って最終的には管理者が目視にて確認を行い、処置の判断が必要となります。

判定	状態	処置	緊急性
A	軽微な傷またはノイズ	処置不要	---
B	ベルト強度に影響しない損傷	処置不要	定期メンテナンスにて補修
C	ベルト強度が低下する損傷	パッチ当て補修	定期メンテナンスにて優先的に補修
D	搬送に影響を及ぼす損傷	切詰め	コンベヤ停止し補修